

北陸新幹線敦賀以西の整備に関する決議

北陸新幹線は、多極分散型の国土づくりを推進し、均衡ある国土の発展に必要不可欠なものであり、地方創生に資する重要な国家プロジェクトである。また、大規模災害時においては、東海道新幹線の代替機能を果たすなど、日本海国土軸の形成を通じて国土強靱化に大きく貢献することが期待されている。

昨年3月に長野・金沢間が開業し、沿線地域に顕著な開業効果があらわれているところであるが、新幹線などの高速交通機関は終着地点まで整備が完成して初めて真の効果を発揮するものであることから、フル規格による大阪までの整備を着実に実現しなければならない。

敦賀以西ルートについては、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会において、小浜・京都ルート（JR西日本提案）、舞鶴を経由するルート、米原ルートの3案にほぼ絞り込まれ、今後は国の調査結果をもとに与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームがルートを決定することとなっている。

小浜・京都ルートは、旅客流動の多い関西圏に直通するとともに、京都駅を経由することから、本市の産業や観光の振興といった地域経済の活性化に大きく寄与するルートである。

については、次の事項を実現するよう強く求める。

記

- 1 敦賀以西ルートについては、小浜・京都ルートに決定すること。
- 2 小浜・京都ルートを決めた上で、中京圏との接続性の向上を図ること。

以上、決議する。

平成28年 6月24日

敦賀市議会